

国語

小学4年

この本の使い方と特色

- 全体の構成 このテキストは、小学校四年生までに学んだことがらを、選ばれた素材によって、合理的かつ総合的に学習できるように編集してあります。
- 単元の構成 一つの単元は、確認問題 → 練成問題の順に構成してあります。また、読解問題は、詩をのぞいて、一素材ごとに見開き完結になっています。
- ◆ 確認問題・練成問題……基本的な問題の量、素材と問題の難易度により、確認問題・練成問題とに分けてあります。また、真の理解力と表現力を養うために、記述問題も配してあります。

目次

1 物語(1)	2	5 説明文(1)	18
2 物語(2)	6	6 説明文(2)	22
3 伝記・脚本	10	7 漢字・語句・ことばのきまり(1)	26
4 詩	14	8 漢字・語句・ことばのきまり(2)	30

確認問題

物語(1)

学習用

/

- 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

- (2) — 線①「風みたいに走る」とあります。でも、「風」と同じように、速く走るラックのことをたどっていることばを、本文中から書きぬいて答えなさい。
- (2) — 線②「ラック、歯が生えるんや。もぞもぞして、かじるんやで」と言ったときの「ぼく」の気持ちとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア ラックに全部の歯が生えそろえれば、今よりもっと大変なことになると考え、うんざりする気持ち。
- イ ラックのいたずらを止めるのは無理だということをみんなにわからせ、ラックを箱に入れたい気持ち。
- ウ 自分がいろいろなことをよく知っている物知りだということを、みんなにじまんする気持ち。

〈岸川悦子「教室にウサギがやつてきた」より〉

(注) 和幸＝「ぼく」の弟。

- 工 あかちゃんのラックが物をかじるのは仕方ないことだとみんなにうつたえ、ラックをかばう気持ち。
- (3) — 線③「おなじ考え方」について、次のそれぞれの問題に答えなさい。
- (1) 「おなじ考え方」とはどういう考え方ですか。「～という考え方」という形で書いて答えなさい。
- (4) 本文中で、先生はどんな先生としてえがかれていますか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。
- ア 自分の思つた通りに子どもをしたがわせる先生。
- イ なまけもので、めんどうなことがきらいな先生。
- ウ クラスのみんなの考え方や意見を大切にする先生。
- エ きびしくて、悪い行いを決してゆるさない先生。

練成問題

- 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

□(4) ━ 線③ 「キヤキヤンキヤン」ちびこの声が聞こえた」と

から。

□(3) 線② 「ぼうやぎつねがころんとたおれた」とあります。

その理由を、「～から。」という形で、書いて答えなさい。

いるのは、二二二からどこまでですか。その最後の七字（も字数に數えます）を書きぬいて答えなさい。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (6)

工	く い く い
ちらちら	ち ら ち ら
オ	は た ば た
力	き よ ろ き よ ろ

かに還ひ
詰めて答へた。

□
(1)
①
△
⑥
に入る最もふさわしいことばを、それぞれ次

高橋宏幸「チロヌツプのきつね」より

ありますが、ちびこがこのように鳴いた理由を、「うから。」と
いう形で、書いて答えなさい。

（5）――線④「父さんぎつねは、『ケーン！』と一声鳴いて、わざと、人間のにおいのする方へとび出していった」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

（二）での「人間」とは、どう

父さんぎつねが「わざと、人間のにおいのする方へとび出していった」のはなぜですか。その理由を、「うから。」といふ形で、書いて答えなさい。

次から選び、記号で答えなさい。

ア 北国の冬の自然のきびしさ。

イ 親ぎつねの子に対する愛情の深さ。
（あいじょう）

ウ 人間にも負けないきつねのかしこさ。

エ きつねをつかまえる人間の知恵深さ。
（ちえ）

確認問題

物語(2)

学習用

/

- 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

〈小松左京「宇宙人の宿題」より〉

□(1) — 線①「あなたたち、宇宙人でしよう」とあります。宇宙人はどんな外見をしていますか。本文中のことばを用いて、

書いて答えなさい。

□(2)

——線②「三人の変な男は、びっくりしたように顔を見合わせた」とあります。『三人の変な男』がびっくりしたように顔を見合させたのはなぜですか。その理由として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア よしこが、初対面の相手である自分たちにに対して、なれな
れしい口をきいてきたから。

イ すがたも話す言葉も地球人そのものである自分たちに対し
て、よしこがとんちんかんなことを言ったから。

ウ 残こくな地球人であるよしこに、自分たちの正体がばれて

しまい、ひどい目にあわされると思ったから。

エ よしこの態度や行動が、それまでに想像していた地球人の
様子とはだいぶちがっていたから。

□

□(3) — 線③「これも、報告とだいぶちがう」とありますが、宇宙人が受けていた「報告」の内容にあったものを次から一つ選

び、記号で答えなさい。

ア 地球人はかしこい。 イ 地球人は勇氣がある。

ウ 地球人は残こくだ。 エ 地球人はみな仲良しだ。

□(4) — 線④「科学の進歩」とありますが、宇宙人は、科学とはどのように使うべきものだと考えていますか。次の文の□に入る最もふさわしいことばを、それぞれ本文中から漢字二字で書きぬいて答えなさい。

（科学とは、□①などのために使うものではなく、世の中の

□②のために使うべきものだ。）

□(5)

①
□
②
□

——線⑤「そんなこと」とは、どんなことですか。「～こと」という形で、書いて答えなさい。

こと。

□(6) 本文には「宇宙人の宿題」という題名がついていますが、宇宙人から、よしこをふくめた地球人にあたえられた「宿題」とは、どのようなことですか。本文中のことばを用いて、「～こと」という形で、書いて答えなさい。

こと。

□

練成問題

- 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

〈矢口高雄「ボクの学校は山と川」より〉

(注) アケビ＝山野に自生する木。秋、だ円形の実が熟す。

監禁＝人の自由をうばって、とじこめておくこと。

□(1)

——線①「行くべ」とありますが、先ぱいたちは、どこへ何をしに行こうとそつてているのですか。「～行こう。」という形で、書いて答えなさい。

行こう。

□(2)

——線②「みょうに感心した」とありますが、「ぼく」は、先ぱいたちのどんなところに感心したのですか。「～ところ。」という形で、書いて答えなさい。

①
②
③
④
⑤

□(3)

——線③「うなだれる」が表している「ぼく」の様子として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ところ。

□(4)

——線③「うなだれる」が表している「ぼく」の様子として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 言いわけを考えている様子。

イ がつくりと下を向いている様子。

ウ ペコペコ頭を下げている様子。

エ 苦しそうに声を出している様子。

□(5)

——の言葉から読み取れる「母」の気持ちとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 子どもにはのびのびと育つてほしいという気持ち。

イ アケビをもつと取ってきてほしいという気持ち。

ウ 先生や親に心配をかけないでほしいという気持ち。

エ 親をだましたりはしないでほしいという気持ち。

□(6)

——本文中にえがかれている「ぼく」の説明として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 度胸があつて、男らしいさっぱりした性格で、くよくよしたりすることがない。

イ 根はまじめな子どもであるが、負けずぎらいで、みえっぱりなどころがある。

ウ 表面ではまじめをよそおっているが、実際にはざるがしこくて、計算高い。

エ 心のやさしい子どもで、周囲の人間に對して細かい気配りをしている。

